

* 物理療法について

物理療法には機器によるものと手技によるものがありますが、アシスタントが行うのは機器によるものです。その物理療法機器をいくつか紹介いたします。

<バイブラバス>

- 【目的】骨折後・打撲・捻挫・腱鞘炎・関節拘縮・疼痛・筋緊張スパズム・
関節のこわばり・血流改善等
- 【禁忌】心臓疾患・感染症・悪性腫瘍・有熱者・結核性疾患・血圧異常・急性疾患・
極度の衰弱時・妊婦・アトピーなどによる知覚、皮膚過敏症・幼児、
または意思表示が出来ない方・その他、医師が不相当とみなした人

<バイブラバス 下肢用> ※ 上肢に使用するものもあります。



<ハドマー（波動型抹消循環促進装置）>

- 【目的】血液やリンパ液の循環促進
- 【禁忌】急性静脈血栓症・炎症性浮腫・化膿性疾患・皮膚疾患等・心臓や血管の疾患・
悪性腫瘍・発熱・妊娠中などの安静を要する人

<ハドマー 下肢用> ※ 上肢に使用するものもあります。

